

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S03-01-01			
施設名	荒川区役所本庁舎（管理事務費）					
所在地	荒川区荒川二丁目2番3号					
部課名	管理部経理課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	昭和43年	1,026,419	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和43年7月10日		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	昭和43年7月10日	職員数	8			
構造	SRC造	階層	地上7階、地下1階、塔屋2階			
面積	敷地面積	8,147.35㎡				
	延床面積	16,770.10㎡				
設置目的・経緯	区政運営の拠点施設					
関連部署						
根拠法令等 設置条例						
駐車場の状況	約40台	バリアフリー	●エレベーター	●だれでもトイレ		
駐輪場の状況	約160台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	まで
事業内容	本庁舎の運営、維持管理等					
対象者	一般区民、区職員					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分（毎週水曜日は一部の窓口で午後7時まで、第2・第4日曜日は一部の窓口で午前9時～12時）				
	休日	土日・祝日、年末年始（上記の日曜開庁日を除く）				
施設基本データ等	開庁日数(日)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		268	267	267	268	267
	電力使用量(kw)	1,386,545	1,326,583	1,378,423	1,384,231	—
	ガス使用量(m³)	131,043	130,819	141,188	147,853	—
	水道使用量(m³)	17,902	18,391	18,404	18,398	—
	二酸化炭素(CO2)排出量(t)	882	897	1,007	1,028	—
	ごみ排出量・可燃(kg)	25,842	21,790	18,768	18,591	—
	ごみ排出量・不燃(kg)	12,473	15,506	9,562	7,915	—
指定管理に係る費用						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	33,473	35,002	1,529	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	258,489	258,622	133	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	維持補修費	38,942	43,240	4,298	都支支出金	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	109	109	0	使用料及び手数料	2,108	3,735	1,627				
	減価償却費	22,458	24,942	2,484	その他	8,933	9,238	305				
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	11,041	12,973	1,932				
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,697	6,816	5,119	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲344,127	▲355,758	▲11,631				
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲7,375	▲6,887	488				
	行政費用合計(b)	355,168	368,731	13,563	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲351,502	▲362,645	▲11,143				
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	45,200	0	▲45,200				
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	45,200	0	▲45,200	当期収支差額(e)+(h)	▲306,302	▲362,645	▲56,343				
貸借対照表	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
	流動資産	収入未済	1	1	0	流動負債	60,693	57,915	▲2,778			
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0			
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	53,235	53,235	0			
	固定資産	有形固定資産	445,461	422,449	▲23,012	賞与引当金	1,697	1,800	103			
		土地	286,311	286,311	0	その他の流動負債	5,761	2,880	▲2,881			
		建物	1,150,709	1,150,709	0	固定負債	736,690	685,419	▲51,271			
		建物減価償却累計額	▲991,558	▲1,014,570	▲23,012	特別区債	714,235	661,000	▲53,235			
		工作物等	273,605	273,605	0	退職給与引当金	19,575	24,419	4,844			
		工作物等減価償却累計額	▲273,605	▲273,605	0	その他の固定負債	2,880	0	▲2,880			
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	797,383	743,334	▲54,049			
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲328,907	▲293,912	34,995				
その他の固定資産	23,014	26,972	3,958	正味財産の部合計	▲328,907	▲293,912	34,995					
資産の部合計	468,476	449,422	▲19,054	負債及び正味財産の部合計	468,476	449,422	▲19,054					
備考	行政費用のうち給与関係費については、本庁舎を管理する職員分のみ計上している。また、物件費に占める主な経費の割合は、委託料64.8%（前年比+0.1%）、光熱水費20.9%（前年比+2.1%）となっている。光熱水費が増加した主な要因は、空調機器の稼働期間が増えたことによるものである。											

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)			89	90.4	
	1㎡当たりコスト(円)			21,117	21,987	
	区民1人当たりコスト(円)			1,661	1,729	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○本庁舎は、築後49年が経過しているが、平成22・23年度にかけて免震工事を実施し、躯体の安全性の向上を図った。</p> <p>○その一方で、空調設備機器や弱電設備等の老朽化が進んでいることから、今後は、設備類の大規模改修を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>○また、多様化・複雑化する行政需要に対応するための執務スペースや会議室が不足している他、バリアフリーやOA対応等の面でも課題がある。</p> <p>○さらに、一部の部署や窓口が分散していることから、区民の利便性や事務の効率性等に影響が生じている。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○建物の耐用年数を踏まえた建替え時期の検討と、その時期を踏まえた改修計画の策定が必要である。</p> <p>○建替えの検討に際しては、分散している北庁舎や防災センター等の区の組織や機能の集約をはじめ、建替えのための用地や手法、財源の確保等の検討が必要である。</p>					
議会、利用者等からの意見						